

第13回全国和牛能力共進会北海道大会 会場設営実施計画作成業務仕様書

第1 業務の目的

令和9年秋季に北海道で開催する「第13回全国和牛能力共進会北海道大会」（以下「本大会」という。）について、令和6年度に策定した「第13回全国和牛能力共進会北海道大会基本計画」（以下「基本計画」という。）を踏まえ、会場設営に係る具体的な実施計画の作成を委託する。

第2 契約期間

契約締結日から令和8年9月18日(金)まで

第3 大会開催日及び開催場所

(1) 開催日 令和9年8月26日(木)～8月30日(月)

(2) 開催場所

①種牛の部会場

- ・共進会場エリア：「旧・ホクレン十勝地区家畜市場」（河東郡音更町字音更西2線）
- ・催事会場エリア：「希望が丘運動公園」「家畜集出荷センター」（河東郡音更町希望が丘）

②肉牛の部会場

- ・審査・展示会場：「(株)北海道畜産公社十勝工場」（帯広市西24条北2丁目）
- ・セリ会場、セリ参観会場：「帯広市総合体育館よつ葉アリーナ十勝」（帯広市大通北1丁目）

第4 業務内容等

【計画作成関係】

計画区域内外の景観、環境保全及び安全性に留意するとともに、本大会の期間を考慮した経済性・施工性・維持管理等の諸条件を満足させるよう努め、種牛の部及び肉牛の部会場に、審査会場、屋外観覧会場、牛舎などの施設・設備の設営から撤去まで、以下の内容について作成すること。

(1) 種牛の部会場

①会場設営計画の考え方

②会場鳥瞰図

③会場エリア図

④会場内施設配置、規模計画（※人・牛の動線計画を含む）

ア 共進会エリア

- (a) 審査会場内計画図
- (b) 開会・閉会式計画図
- (c) 演台(ステージ)計画図
- (d) 登壇者席・受賞者席・特別参加者(来賓)席計画図
- (e) 参観者席、障がい者用参観席計画図
- (f) その他必要な図面等

イ 共進会エリア（審査会場外）

- (a) 牛舎等配置計画図（雄・雌牛舎、牛積降場、たい肥置場等）
- (b) 牛舎等実施設計図（雄・雌牛舎、牛積降場、たい肥置場等）
- (c) 仮設トイレ配置計画図
- (d) 牛洗い場配置計画図
- (e) シャトルバス乗降場配置計画
- (f) 隣接(皇族・来賓・関係者・緊急・報道等車両)駐車場計画図
- (g) その他必要な図面等（隔離牛舎、待機場、調教場、撮影用パネル）

(2) 肉牛の部会場

- ①会場設営計画の考え方
- ②会場鳥瞰図
- ③会場エリア図
- ④会場内施設配置、規模計画（※人・牛の動線計画を含む）

ア 審査・展示会場(株北海道畜産公社十勝工場)

- (a) 審査・展示会場内計画図
- (b) 防疫対策仮設テント等画図
- (c) その他必要な図面等

イ セリ会場・セリ参観会場(帯広市総合体育館「よつ葉アリーナ十勝」)

- (a) セリ会場内計画図
- (b) セリシステム設置計画図
- (c) セリ参観会場内計画図
- (d) その他必要な図面等

(3) 会場設備計画

- ①電気・情報通信・給排水設備計画の考え方(照明設置計画含む)
- ②電気設備幹線配線計画図(施設容量算定)
- ③給排水設備幹線配管計画図(施設容量算定、水質検査含む)
- ④案内板(誘導・案内・入場規制等)配置計画図
- ⑤各会場における映像提供の考え方及び概要図
- ⑥音響システムの考え方(含むスピーカー・ケーブル配線) 及び概要図
- ⑦その他必要な図面等

(4) 会場設営・撤去に係る計画

(5) その他必要な計画

【スケジュール関係】

年度別の各月の大会までの動きをスケジュールとして作成する。
日程について、上旬・中旬・下旬の区別で分かるようにすること。

- ①全体計画（実施計画作成・実施設計等）
- ②施行計画（仮設物・各種テントの設営、電気・給水設備工事、撤去等）
- ③その他必要な計画

【協議・打合せ等】

業務における協議・打合せは、業務着手時、中間打合せ、成果品納入時に行うものとする。

ただし、中間打合せは、委託者と受託者が協議の上、必要に応じて実施する。

また、業務着手時及び業務完了時には、原則として業務担当責任者が立ち会うものとする。

なお、委託者は受託者に対し、契約期間中、第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会（以下「実行委員会」という。）が開催する会議等への出席並びに本業務の実施状況等について報告・説明を求めることができる。

【事業費積算関係】

大会実施計画の内容を履行するために必要な事業費について詳細に積算し、上記項目ごとに、数量・単位・単価を明示し、費用の内訳・積算根拠が分かるように記載すること。

また、消費税及び地方消費税の額を算出し、合計額を記載すること。

なお、当該事業費の上限額は238,000千円とする。ただし、今後の収支計画により上限額は変更する場合がある。

第5 成果品

本業務の成果品は、次に掲げるとおりとする。

(1) 中間報告書 ※事業費積算を含む

- ア A4版カラー刷り（加除式ファイル） 100部
- イ 原稿、原図、各種電子データ一式
- ウ 納期 令和8年3月6日（金）
- エ 報告会 令和8年3月中旬（予定）

(2) 業務完了報告書

- ア A4版カラー刷り（加除式ファイル） 200部
- イ 原稿、原図、各種電子データ一式
- ウ 納期 令和8年9月4日（金）
- エ 報告会 令和8年9月中旬（予定）

(3) 成果品の電子データ

- ア 電子データの作成に使用するソフトウェアは、Microsoft社のWord、Excel及びPowerPointにより編集が可能なもの
- イ 保存媒体は、CD-R若しくはDVD-R

第6 契約に関する条件等

(1) 契約金額

本業務の契約金額には、企画料、会場設営、運営、撤収及び所要の法令等手続きに必要な全費用、実行委員会に提出する諸経費作成費、業務管理料等、本業務に係る一切の経費を含むものとする。

(2) 再委託等について

- ア 受託者は、本業務の全部又は主要な部分を第三者に再委託し、又は請け負わせてはならない。
- イ 受託者は、本業務の一部（主要な部分を除く。）を第三者に再委託することができるが、その場合は再委託先の概要と責任者を明記し、再委託する業務の内容、体系図及び工程表を事前に書面にて提出し、実行委員会事務局の承認を得ること。
- ウ 受託者は、イにより再委託する場合には、北海道内に主たる営業所を有する者の中から再委託先の相手方を選定するよう努めること。

(3) 業務の履行に関する措置

- ア 実行委員会は、本業務（再委託した場合を含む）の履行について、著しく不相当と認められるときは、受託者に対してその理由を明記した書面を求め、必要な措置を取るべきことを要求する場合がある。
- イ 受託者は、アの要求があったときは、当該要求に係る事項について検討し、その結果を要求のあった日から10日以内に、実行委員会に書面で提出するものとする。

(4) 成果品の帰属等

- ア 本業務の成果品に関する著作権（実施計画書（案）作成過程で作られた素材等の著作権を含む）、その他の権利は、全て実行委員会に帰属するものとする。
- イ 本業務において制作した資料等について、受託者は実行委員会に対し著作権者人格権を行使しないものとする。

ウ 他の個人・団体等の著作に係る文献や資料等を引用する場合は、受託者において著作権者の了解等を得た上で、引用した文献等の名称を明記すること。

(5) 機密の保持

受託者は、本業務（再委託した場合を含む）を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、第三者への開示、漏洩防止について、善良な管理者の注意をもってその情報を管理・保持するものとする。また、契約終了後も同様とする。

(6) 個人情報等の保護

本業務（再委託した場合を含む）により取得した個人情報は、実行委員会に無断で第三者に提供することはできない。また、業務の遂行に当たっては、個人情報保護に係る法令等に準拠した対応を行うとともに、各関係者のプライバシーの保護に十分配慮しながら、業務上知り得た個人情報を紛失し、又は業務に必要な範疇を超えて他に漏らすことのないよう万全の注意を払うこと。

第7 注意事項

- (1) 受託者は、業務全般の管理監督及び実行委員会との連絡、調整を行う業務担当責任者を置くとともに、当該業務に関し十分な知識・経験を有する者をもって適切に業務を行うこと。
- (2) 共進会、開閉会式等のメイン行事や牛の搬入・搬出等は主催者である公益社団法人全国和牛登録協会と実行委員会が協議しながら計画策定を進めることから、資料等の作成にあたっては、実行委員会と密に連携を図るとともに、内容については、協議により加除修正することがある。
- (3) 種牛・肉牛の部会場については、既に作成している基本計画を参考に有効活用しながら、必要に応じて修正・変更等の計画を検討するものとする。
- (4) 別途業務委託を行う大会・式典運営、交通輸送及びその他計画作成等と連携を図りながら、計画を検討するものとする。
- (5) 運営・施工に関する経費を抑えながらも、効率的で周辺環境にも十分配慮した計画を検討するものとする。
- (6) 実行委員会から提供した資料の目的外利用は禁止する。また、本業務終了後、提供資料は実行委員会に返却するものとする。
- (7) 本業務完了後、受託者の責めに帰すべき事由による成果品の不良箇所等が発見された場合は速やかに訂正等の措置を行うものとし、これに要した費用は、すべて受託者の負担とする。
- (8) 本仕様書の内容に変更がある場合又は本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合は、両者協議の上、取り決めるものとする。